

平成 30 年度 ASEAN 向け省エネ支援事業の初回会合を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託を受けて、2018 年 7 月 31 日～8 月 1 日の 2 日間、ベトナム・ハノイの初回会合で本年度の AJEEP(ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership) 事業計画・取組み内容等を説明し各国と今年度事業実施内容の討議を行ないました。

- (1) スキーム 2 は、エネルギー管理士育成・判断基準導入に向けた事業として 4 年計画の 3 年目を継続実施すること。
- (2) スキーム 3 は、カンボジア・ラオスを対象に省エネ法関連諸制度について継続支援すること。
- (3) 省エネビル基準の策定、ASEAN 表彰基準について受け入れ研修で提案・決定すること。



オープニングスピーチ（ホスト国（ベトナム）・日本・ACE(ASEAN Centre for Energy)）



討議風景



集合写真

「平成 30 年度の ASEAN に対する省エネ人材育成事業」の具体的な活動実施計画作成のための会議（ベトナム・ハノイ）を開催しました。会議には ASEAN 各国（4 カ国代表は不参加）から ASEAN 省エネルギー部会（EE&G-SSN）の代表（Focal Point 又はその代理）及び ACE が参加し、本年度の実施計画を決定しました。

- (1) スキーム 2 のエネルギー管理士育成事業内容に関して、昨年度の成果について各国から評価され、引き続き 3 年目としてプログラムの継続が承認されました。また 2 年後のプロジェクト終了以降の進め方について提案し次回の受け入れ研修時に討議を開始することになりました。
- (2) スキーム 3 については、カンボジア、ラオスにおける省エネ上位法・政策整備の進捗が ASEAN 各国出席者間で情報共有されました。30 年度活動は S&L 制度、エネ管理制度の整備について、責任推進体制の一形態である Technical Working Group (TWG) を対象として、優先順位をつけて実施することを提言し、了承されました。
- (3) ビルディングコードの整備推進については、昨年度に引き続きビルコード（BEC、GBC）の情報共有、ASEAN エネルギー大賞の評価方法改善の討議、特に ZEB に関しては、ASEAN Energy Award の Special Submission に ZEB Ready を加えるための最終確認を行うことなどを目的に、受入研修を実施することを提案・合意しました。